

令和4年度事業計画

1. 基本方針

平成23年(2011年)から10年間、第1次の中長期計画『設立40周年へのマスタープラン』を基に事業を進め、当センターの事業は大きく拡大しました。次の10年に向けて、第2次の中長期計画を策定し、『高齢者が社会の担い手として、生涯現役で活躍することの出来る幸せな長寿社会の創造』を目指すべきビジョンと定め、事業を進めてまいります。

次の10年後の令和13年(2030年)頃には全国民の32.1%、3人に1人が65才以上となります。

また、この10年間センター事業を支えた団塊の世代の子世代『団塊ジュニア』が60才を迎えセンターに参加出来る時代になります。高齢者層が求める価値観が益々多様化する中、シルバー人材センターが、その多様なニーズに応じた事業運営に取り組む必要が有ります。

会員の就業のスタンスも、従来の「生きがい就業や健康維持のための就業」、「ライフワークにあった働き方」に加え、「生活を支える就労」「ダブルワーク」など10年後のシルバー事業を見据えて、柔軟な対応をしなければなりません。

多くの高齢者が活躍できる社会実現に向けて、労働力としての地域社会の支え手、地域福祉の担い手として、私たちが最も得意とする動員力を発揮し、イベントへの協力・協賛やボランティア活動を通じて社会に参画し、豊かな経験と知識を持つ我々高齢者が活躍できる場所を開拓して参ります。

定年延長など社会環境の変化や高度情報化社会に柔軟に対応し、地域の特性を活かした戦略的な事業や、多くの会員と協働した「魅せるセンター」に取り組み、新たな時代の先進的なシルバー人材センター事業の活躍事例『新・かどまモデル』を確立させ、生涯現役を目指す全ての高齢者を支援して参ります。

2. 『新・かどまモデル』の骨子

事業の現状を分析し、より戦略的な事業のイノベーションを目指します。

- 【1】会員数を増やす
- 【2】就業機会を拡大する
- 【3】『魅せる広報活動』を進める
- 【4】安全・適正就業を推進する
- 【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

3. 令和4年度事業運営の取り組みと数値目標

基本方針に基づき、以下の令和4年度の事業運営の取り組みと数値目標の達成を目指します。

(1) 事業運営の取り組み

- ①ホームページやSNSの環境を整え、WEBによる入会説明会の実現を目指します。
- ②1年目の会員に対し、現状の就業状況やシルバー事業を聞き入れるためのアンケート調査を行い、満足度の調査を行います。
- ③特に人手不足分野(運転業務、保育業務)などにアプローチを行い、シルバー会員が地域で活躍・貢献できる就業を目指します。

- ④「復活」を合言葉に今まで取り組んできた事業や広報活動を積極的に実施できる環境を目指します。
- ⑤デジタル社会に向けた、スマートフォンの活用を研究し、シルバーアプリの開発を目指します。
- ⑥役員の改選に伴い、広く新たな人材を取り入れ事業の活性化に寄与します。

(2) 数値目標

事業基本方針に基づき、令和4年度の数値目標を以下に設定し、必達を目指します。

①正会員数

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
正会員数(人)	1,700	1,605	1,800
【内】新入会者	220	191	300

②契約件数

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
受託事業(件)	4,600	4,502	4,800
派遣事業(件)	320	300	500

③契約金額

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
受託事業(千円)	400,000	377,906	400,000
派遣事業(千円)	320,000	282,617	320,000

④就業率

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
就業率(%)	90	93.6	90

⑤就業実人員

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
受託事業(人)	1,300	1,222	1,300
派遣事業(人)	500	435	500

⑥就業延人員

	令和4年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和3年度 (目標)
受託事業(人)	120,000	110,960	120,000
派遣事業(人)	58,000	54,944	56,000

4. 具体的実施計画

【1】会員数を増やす

(1) 入会促進

1、入会説明会の開催

- ・入会説明会をセンター会議室、弁天池公園管理事務所、市民プラザの3か所で実施し年間36回開催します。
- ・WEB入会を目指し、入会説明動画の作成を試行します。
- ・ハローワーク等職業斡旋機関や一般企業でのPR活動を実施します。

(四半期ごとの入会説明会参加目標)

(単位：人)

参加者数	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度 目標	50	50	70	50	220
令和3年度実績	52	47	86	48	233

2、新入会員研修会及び体験就業の実施

- ・入会説明会に参加され入会を希望された方に対し、当センターの組織・運営・規約を伝えるための研修会を毎月3回（年36回）開催します。
- ・入会后すぐに就業についていただけるよう、体験就業を毎月3回（年36回）実施します。
- ・大シ協の就業体験事業に協力し新入会員の獲得と事業のPRに努めます。

(四半期ごとの参加者目標)

(単位：人)

参加会員数（人）	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度	50	50	70	50	220
令和3年度実績	42	33	71	45	191

3、多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・市役所ロビー等の公共施設や企業訪問を通じPR活動を図ります。
- ・女性活躍推進委員会によるイベントを通じ女性への入会促進を図ります。
- ・体験就業会や技能講習会などを開催し入会促進に努めます。
- ・ホームページや機関紙等で多様な就業の内容を公開し、情報公開に努めます。
- ・イベント、ボランティア活動を通じ市民への事業のPR活動を図ります。

4、口コミによる入会活動

- ・既会員による紹介活動「会員紹介キャンペーン」を実施します。

(2) 魅力的なセンターづくり

1、同好会活動

- ・公認同好会組織への活動支援をするとともに、新たな同好会の発足の支援を行います。

2、フレンドリーショップ制度

- ・登録店舗で商品の割引等、特典が利用できる「シルバーフレンドリーショップ」の制度を継続します。会員の満足度を調査し、登録店舗への事業のPR活動、就業機会拡大のため就業開拓部会員による訪問活動を2ヶ月に1回の頻度で実施します。

3、満足度調査

- ・在会1～2年会員アンケートの実施

令和2年度に入会された会員146名に対し、満足度向上及び退会抑制、安全就業推進を目的としたアンケート調査を実施します。

4、インターネット、アプリ、SNSの活用

- ・アプリの開発や、ホームページの活用を進め会員サービスの向上、事業をより効果的にPRする方法を探ります。アプリ開発ではセンター事業への貢献度（ボランティアやイベントボランティア参加者等）に対し、ポイントを付与が出来る機能を検討します。

【2】就業機会を拡大する

豊かな能力・技術・経験のある方、ホワイトカラー層、80歳以上の方、ハンディキャップをお持ちの方等、会員の様々な経歴・環境・希望に対応し、適材適所で多種多様な仕事に対応します。

(1) 生きがい就業の推進

受託事業・労働者派遣事業・創意工夫事業により、適材適所で多種多様な仕事に対応し、生きがい就業を推進します。

1、受託事業の取組み

- ・地域で役立つ・頼られるシルバー人材センターとして、個人家庭のお困りごとへの対応に強化を図るため利用者アンケートを実施し、調査結果を分析して満足度向上を図り、就業実績を向上させます。
- ・アンケートでの調査結果や全国の事故事例・先進的取り組みを職種別研修に反映させ、就業実績向上につながるリーダー会員を育成に努めます。
- ・地域班による個人家庭・地元商店・自治会・地元コミュニティ等に対し、チラシ配布・口コミなどの就業開拓を行ない、個人家庭・家事援助サービスの就業拡大を図ります。
- ・未就業会員の就業先確保のため、駐車場・公園・施設等、管理部門での一斉清掃・除草等、就業機会を確保に努めます。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

受託事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和4年度各期末目標	101,000	100,700	105,500	92,800	400,000
令和3年度実績	96,626	96,347	100,892	84,041	377,906

2、労働者派遣事業の取組み

- ・営業専門職員による市内事業者及び既存取引先への再アプローチを図り、介護・保育・運転等、人手不足分野を中心とした訪問営業活動に努めます。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

派遣事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	計
令和4年度各期末目標	81,900	79,900	81,300	76,900	320,000
令和3年度実績	72,634	70,770	72,039	67,174	282,617

3、職業紹介事業の取組み

- ・直接雇用を希望する就業については、有料の職業紹介事業を行います。

4、創意工夫事業

①訪問介護事業、総合支援事業

福祉事業の核となる事業とするため、介護初任者研修を終了した人材を広く募集し、会員として訪問介護・総合支援事業に従事するよう努めます。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

訪問介護事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
------------	-----	-----	-----	-----	----

令和4年度各期末目標	5,400	5,400	6,000	6,000	22,800
令和3年度実績	4,455	5,242	5,072	4,661	19,430

②第2層生活支援コーディネーター事業

第1層生活支援事業者と連携し、高齢者の介護予防に努めます。地域の高齢者のニーズを汲み取り相談窓口としての地位の確立に努めます。感染症対策を充分講じ地域の「通い場」作りの増設に努めます。

(箇所)

年度	令和4年度(目標)	令和3年度(実績)	令和3年度(目標)
通いの場の数(箇所)	20	14	15

③福祉有償運送事業

要介護・要支援者、障がい者の外出支援の為、福祉有償運送事業を継続し実施します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉有償事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	500	500	600	600	2,200
令和3年度実績	438	403	787	434	2,062

④福祉作業所事業

就業を希望するが、体力に自信がない方、障がいを抱えた方等に対し、就業機会の提供を図ります。第2層生活支援コーディネーター事業の「通いの場」の一つとして市民に開かれた作業所を目指します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

福祉作業所事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	450	450	800	420	2,120
令和3年度実績	446	428	811	455	2,140

⑤喫茶事業

喫茶「チエブクロー」の営業を継続実施します。第2層生活支援コーディネーター事業の「通いの場」の一つとして市民に開かれた喫茶店を目指します。また会員の手作り作品や地域の農作物、また他市シルバーの物品を販売することが出来るアンテナショップとしての活用を促進します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

喫茶事業契約金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和4年度各期末目標	600	900	900	900	3,300
令和3年度実績	560	811	885	772	3,028

⑥農園、農業事業

市の協力を基に、現在の柳田町・岸和田の市内2か所のシルバー市民農園事業運営を継続します。今年度より会員が、農業に親しみ触れ合う機会と就業機会の両方を獲得できる市民農園の活用を目指します。また伝統野菜『門真れんこん』の収穫体験、学習体験を通じ市民が郷土を愛する機会を創出すると同時に事業を通じセンターの様々な事業活動を広く市民に周知します。

(四半期ごとの目標)

(単位：千円)

農園・農業事業収入金額	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
-------------	-----	-----	-----	-----	----

令和4年度各期末目標	2,570	40	100	250	2,960
令和3年度実績	97	13	55	244	409

⑦指定管理事業

センターの管理施設「弁天池公園」を、市民の交流スペースとして、市民から愛される公園として引き続き適正管理に努め魅力的な街作りに貢献します。

(2) 就業の質の向上

講習・研修会の充実や満足度調査により就業の質を向上させ、また、会員目線・お客様目線により利便性を向上させることにより、就業機会を拡大します。

1、講習会研修会開催

- ・利用者アンケート結果や事件事例、全国の先進事例を取り入れた職種別研修を既存職域班全てにおいて実施し、当該職種に従事する全会員の方に受講していただくことで、リーダー及び次期リーダーを育成し就業の質を高めます。
- ・植木剪定・刈払機・襖張替等、後継者育成のための独自講習会を実施し、市民の方々の幅広いニーズに質の高い就業で対応します。
- ・「デジタル活用支援推進事業」を活用し、スマートフォンの利用に関する支援を行なうことで、シルバーアプリを普及させ、デジタル活用に係る機会又は必要な能力における格差を是正し、就業報告等、お客様・就業会員の利便性向上を図ります。

2、利便性向上の取組

- ・発注者様からのお仕事情報のホームページ掲載、ホームページからの仕事依頼の受付の充実を図ります。
- ・お仕事依頼者に対するサービスの概算見積額の目安を表示します。
- ・会員の交代等による就業内容の変動を防ぐため、就業先の資料充実を図り就業の質の均一化に努めます。
- ・請求書同封によるお客様アンケートを実施し、顧客満足度 85%以上を目指します。

【3】『魅せる広報活動』を進める

センター主催イベントや各種団体等のイベント参加時に、センターの活動や主旨が広範囲に浸透する工夫を凝らした普及啓発活動に努めます。

1、センターが主体となる普及啓発活動

- ・弁天池公園イベント実行委員会を組織し、指定管理施設「門真市弁天池公園」で、スプリングカーニバル（4月）、ふれ愛感謝祭（11月）を開催します。
- ・清掃ボランティア活動として、弁天池公園清掃活動（毎月第1土曜日）市内清掃活動（毎月第3土曜日）を実施します。
- ・シルバー便利や Day（毎月第1・第3月曜日）を市役所ロビー・センター事務所前で開催します。また随時シルバー便利や Day やサロンを地域に出張させ事業の普及啓発のみならず地域の絆を深める一助となります。
- ・地域班組織が行う普及啓発活動を推進していきます。

2、他団体が行う事業に協賛・協働し行う普及啓発活動を実施

- ・「古川橋ラブリーフェスタ・スプリングフェスタ」、「かどま市スポーツ・レクリエーションフェスティバル」等、門真市の活性化を担う活動に参加します。
- ・センターの魅力を発信するため、大阪マラソン等門真市外で開催するボランティア活動にも参加します。

- 3、機関紙やマスメディア、またはソーシャルネットワークを駆使した広報活動
 - ・テレビやラジオ、新聞などに積極的に働きかけ、センターの活動や魅力について情報発信します。
 - ・機関紙「門真市シルバー人材だより」を発行し、市広報10月号に折込し全戸配布いたします。
 - ・各種マスコミやケーブルテレビ『J:COM』や『FM-HANAKO82.4MHz』等に出演を行います。
 - ・年6回週刊大阪日日新聞に記事広告を掲載し会員の活躍について情報発信します。
 - ・生涯現役で就業活動ができる魅力をSNSやホームページを通じ情報発信して参ります。
- 4、ボランティア活動の推進
 - ・協働できる団体や市民と連携を図り、門真市の美化活動に貢献いたします。
 - ・ボランティア推進委員会を中心に、年間のボランティア清掃活動事業の年間計画を作成し、毎月第1土曜日・第3土曜日を活動日として、組織的に清掃活動を実施します。
 - ・地域の安全防犯活動として、青色防犯パトロールを市内全域で実施します。

【4】安全・適正就業を推進する

会員の高齢化に伴い、安全対策、安全意識の向上を図り、安心・安全就業を推進します。また、就業を通じた健康維持を推進し、福利厚生を充実させることで、会員の健康寿命の伸長を図ります。

(1) 安全就業の推進【事故0のために】

就業手順書の整備・徹底や安全研修会の充実、職域班リーダー育成体制の確立により事故発生を0にします。

1、就業の手順書の整備・徹底の取組み

- ・手順書内容を充実させ、職種毎の安全教育を徹底します。

2、安全適正部会や安全就業推進委員会による安全研修会（自転車・熱中症対策・天災・感染症対策等）の充実

- ・職域班リーダーに安全に関する専門的講習を受講させ、リーダーによる安全教育を実施する。
- ・夏場の熱中症予防や、高所作業の安全確認など、各作業のリーダーを中心とした安全教育を充実させます。
- ・門真警察署と協力し、会員向け自転車講習会の開催を図ります。

(2) 自己健康管理、健康診断の推進

市民健康診査の受診推奨や健康測定、生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究事業の実施、福利厚生の充実等、健康寿命の伸長を図ります。

1、会員健康維持の取組み

- ・大学等との連携による健康体力測定の実施を検討します。

2、福利厚生の充実

- ・福利厚生の充実の取組みとして、健康教室の新設や同好会活動による健康維持を推進します。
- ・認知症サポーター講座の開催によるオレンジリング活動により、軽度認知症の初期対応に努め、適材適所で業務への影響を0に努めます。

- ・公認同好会組織と連携し、会員募集や活動支援するとともに、新たな同好会の発足のお手伝いをします。
- ・会員の事業貢献度をポイント化する制度を整備し、会員に付与したポイントが還元される制度の構築を目指します。

【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

(1) 法人運営

1、コンプライアンスの徹底

- ・法令及び定款、諸規定に従い法人の活動状況を広く周知し事業の充実を図ります。
- ・理事会の決定に従い、迅速かつ的確に業務を遂行します。
- ・公益社団法人として、会計基準に基づいた適正な会計処理に努めます。
- ・個人情報を守り、情報公開の適切な運用を実施します。
- ・人権を尊重し、ハラスメント等に対しては迅速、適切に対処します。

2、適正就業の推進

- ・臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務については、法令で定められた時間内での業務を受注いたします。
- ・「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基づいた就業を促進する為、グループのローテーションやワークシェアでの就業を推進します。

(2) 組織・運営体制の強化

- ・役員の改正に伴い、「知識」・「経験」・「経歴」等を参考とし、シルバー事業の運営に参画できる人材の発掘に努め、積極的に委員に登用することで、部会・委員会の活性化に努めます。
- ・理事会、三役部会長会議を中心にした運営体制を強化します。
- ・市内で活躍する人材を会員として迎え入れ組織強化を図ります。

1、地域班

- ・門真市立中学校地域割りの6班体制に変更し、シルバー人材センターと地域が連携を保てる組織を目指します。
- ・事務局通信等で地域を担える人材を呼びかけ、地域サポーターとして活躍の場を拡げます。

2、職域班

- ・現在の職域班10班の体制を見直し、優先順位を付けて職域班の再編を行います。
- ・職域班ごとのリーダーを育成、職域班の活性に努めます。